

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム この葉作成日: 令和 2 年 7 月 20 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	参加メンバーが固定化し、ホームからの報告が中心となっている。運営推進会議の本来の意義を確認しながら、参加委員にとっても、知識や情報を得ることのできる有意義な会議を目指していく。	参加委員(薬剤師、元家族、他地区の民生委員、地域の有識者、知見者等)を増員し、ホームの運営や取り組みの報告だけでなく、地域高齢者の問題や情報について話し合い、地域密着型事業所として、地域貢献に繋がる会議運営を目指していく。	12ヶ月
2	2	事業所と地域とのつきあい	利用者の重度化や職員不足により、地域の行事や活動への参加の機会が減少している。運営推進会議を活用して情報を集め、地域との交流を広げていく。	中学校の職場体験や地域のボランティアの受け入れを行い、認知症やグループホームの啓発活動に取り組みながら、介護相談事業にも取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。